



まいにち ふむふむ



お仕事 ファイル

産婦人科医

～甲田さんのある日～

- 午前 6:00
 - 起床。朝食の支度、子どもの登校見送りなど
- 8:00
 - 病院に出勤
 - 曜日によって、外来や分娩(ぶんべん)、手術などを担当
- 午後 1:00～1:30
 - 休憩(※外来担当の日で取れる時)
- 6:00
 - 帰宅。夕食の支度
- 7:00
 - 夕食
- 8:00
 - 子どもの宿題をみる
- 9:00
 - 入浴
 - 翌日の仕事の準備など
- 11:00～12:00
 - 就寝

甲田 有嘉子さん(43)＝新潟市西区＝に聞く

妊娠と出産に関する医療を行い、女性特有の病気を診断して治療するのが産婦人科医です。

新潟市西区の済生会新潟病院に務める産婦人科医、甲田有嘉子さん(43)は、毎日多くの女性と接します。赤ちゃんが生まれる人、赤ちゃんを望む人、女性ホルモンのバランスの変化で体調を崩している人など、さまざまな悩みに向き合います。

済生会新潟病院には9人の産婦人科医がいます。日替わりで、予約して病院にきた患者や具合が悪くなり緊急で来た患者を診察する「外来」に当たります。甲田さんは月・水曜の週2回、外来を担当します。産科外来(妊婦健診)、婦人科外来、不妊外来に大別され、甲田さんは産科と婦人科を担当しています。

妊婦健診では、母体の健康状態を診たり超音波(エコー)を使っておなかの赤ちゃんの様子を確認したりします。高齢での

生まれる命に立ち会う



出産した母親を診察する甲田有嘉子さん
新潟市西区

出産や持病がある妊婦など、特別なケアを必要とする出産の場合は特に気を付けます。

外来以外の仕事もあります。手術や、入院患者の様子を確認

認める回診、出産の立ち会いなどです。また、月に4回ほど宿日直をこなします。夜中も働き、お産や患者の急変に備えます。

プロフィール

名前	甲田 有嘉子
年齢	43歳
出身地	東京都

2006年 新潟大学医学部卒業
4月 長岡赤十字病院 初期臨床研修
08年4月 新潟大学歯学総合病院
7月 済生会新潟第二病院
09年7月 立川総合病院
11年7月 済生会川口総合病院
15年4月 魚沼基幹病院
23年4月 済生会新潟病院

- 家庭菜園が趣味。中高ではオーケストラ部に所属。大学時代は卓球部
- 休日は子どもたちとプールに行ったり卓球をしたりして体を動かす。近くの日帰り温泉でリフレッシュすることも

たくさんある診療科の中から、甲田さんが産婦人科医を選んだのは「女性に対してさまざまな面で関わることができると感じたからだそうです。」

産婦人科の魅力は、新しい命がこの世に生まれる瞬間に立ち会えることだと言います。「患者さんが無事に出産すると、とてもうれしい。生まれてきた赤ちゃんたちも本当にかわいいです」と笑顔で語ります。

甲田さんには中学2年と小学5年の2人の子もがいて、子育てをしながら病院勤務を続けてきました。仕事との両立が大変な時もあったそうですが、家族や職場のサポートがあり勤務医を続けられたと振り返ります。

患者との関わりで心がけていることは「丁寧な診察と分かりやすい説明」です。「同じ病気でもそれぞれ感じ方は異なります。治療のゴールも違う。少しでも不安を取り除くことができればいい」と話します。

医師には「コミュニケーション力」が必要だと強調します。医師になるには勉強も重要ですが、患者と接する「臨床」の現場では、人との関わりが不可欠だからです。医師を目指す人には「患者さんを大事にする気持ちを持ち続けてほしい」とアドバイスしました。